

無料観覧デー&見学会のお知らせ

だいごやま 醍醐山から毛無山を眺めよう

- 期 日：平成28年11月27日(日) ※雨天中止。小雨の予想の場合は決行。
- 集 合：JR身延線 甲斐常葉駅 8:30集合(15:20解散)
- 定 員：20人(定員になり次第締切。お申込み期限：11月17日午前中まで)
- 【主 催】 醍醐山を愛する会
- 【共 催】 スポーツ指導者協議会 峡南支部・フットパスしもべ・みのぶを歩く会、
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

今年も秋の見学会の季節がやってきました。第1回目の見学会は、“金山遺跡見学会”ではなく、町内の自然や山を知ろう！ということで、身延町のスカイツリーこと醍醐山登山です(標高634.8m) 今回の登山のご案内は、こども金山探検隊でもおなじみの昭和山岳会の皆さんです。第2回目の見学会山登りが趣味の方はハイキング気分、山登りが初めての方には登竜門として絶好の機会ですので、ご興味がある方は是非ご参加ください。

ときわ 常葉金山遺跡探検見学会

- 期 日：平成28年12月3日(土) ※雨天決行。豪雪・大雨の予想の場合は中止。
- 集 合：JR身延線 甲斐常葉駅 8:00集合(15:30解散予定)
- 定 員：15人(定員になり次第締切) ■お申込み期限：12月1日(木)まで

身延町には中山、内山、茅小屋の湯之奥3金山に加えて、川尻、栃代、常葉金山の6つの金山遺跡が存在します。いずれの金山も、稼業開始は戦国時代からと伝えられ現在に至ります。では、すべての金山の歴史の詳細が明らかになっているかといえば、そうではありません。特に栃代金山と常葉金山は…。

ということで、今年の金山遺跡見学会は、身延町内にある金山の1つ、“常葉金山遺跡”です。下部町史に1ページ程の記載が残っている当金山は、未解明な部分も多く、**巨岩や石積みの跡**など見どころがたくさん！いったいこれが何なのか…？大人の金山探検隊！是非ふるってご参加ください。お申込みいただいた方には、詳細な日程を各自にお送りさせていただきます。

「山梨県民の日」平成28年11月20日(日)

毎年11月20日は「山梨県民の日」ということで、年に一度のお得な日。博物館展示無料入館デーです。今年は日曜日に当たるので、多くの方に喜んでいただけるのでは…？博物館展示はどなた様も観覧無料。砂金採り体験は1割引となります。たくさんのお客様のご来館をお待ちしております。

編 集 後 記

あっという間に夏が終わりましたが、見上げる空はすっきりしない日が多い今年の秋。時季外れに、そしていつもとは異なる進路でやってきた幾つもの台風が各地に深刻な被害をもたらしていますが、何があってもその先に必要なのは「復旧・復興・再生」への力。そんな“力”をいろんな場面で見ます。当館も、この6月に谷口前館長の存在を失い、空いた穴は大変大きいものでありますが、2代目出月洋文館長をお迎えさせていただき、新しいスタートを切らせていただきました。これまで培い作り上げてきたものをパワーアップさせながら、これまで以上に骨太な博物館づくりを進め、スタッフ一同、改めて気を引き締めておりますので、変わらぬご支援・ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

博物館だより

第77号 平成28年10月20日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先
TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>
博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp  facebook もーん父さん

甲斐の金山から

平成28年10月20日 第77号

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



博物館有料入館者35万人達成！ もーん父さんも大喜び♪

7月10日に、有料入館35万人目のお客様をお迎えました。仁井田来未ちゃん(神奈川県)! この日、2回目の砂金採りをしようとチケットを買ってくれた来未ちゃんが35万人目となりました。もーん父さんも大張り切りで記念撮影しました。

さて、博物館だけでなく、身延の観光PRに貢献すべく、日々頑張っているもーん父さん。今年は、埼玉県羽生市で開催される「世界キャラクターさみっとin羽生」に参加します。みんな応援にきてね!!!

2016年11月19[土]~20[日]日 於 :埼玉県・羽生水郷公園

10年先を見据え、谷口初代館長の夢・展望・功績を継承し、発展させるために

《第2代館長就任あいさつ》にかえて



甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

「町民待望の湯之奥金山博物館が開館、いよいよ湯之奥（中山、内山、茅小屋）金山遺跡のうち中山金山の学術的な成果が全国に向けて発信されることになりました」と19年前の当館の館報第1号（平成9年8月25日発行）において谷口一夫初代館長は、声高らかに宣言をされました。

その谷口先生がこの6月10日、入院中の病床で急に症状が悪化され、帰らぬ人となってしまいました。突然の訃報に湯之奥金山博物館に関わられた多くの皆様に大きな衝撃と深い悲しみをもたらすものとなりました。直後はただただ、当館の創設の段階より常に当館のトップリーダーとして館運営を始め多岐にわたり、力強く牽引されてこられた谷口先生のご冥福を祈るほかになし、という状況に陥りました。

しかしながら、悲しみの涙も乾かぬうちに、館は夏のハイシーズンを迎え、今号の報告記事にもありますように数々のイベントが展開され、当館スタッフもご来館の皆様とともに汗を流した日々が続きました。

秋を迎え、館の運営も来年、すなわち平成29（2017）年度の事業計画を立てていく時期となりました。そうした折に館長の不在もいかがかというところで急きよ、出月が9月1日付をもちまして館長の職を拝命いたしました。若輩ながら、身延町や広く富士川流域にみなぎる文化振興のパワーを追い風に、館員や関係の先生方、応援団や地域の皆様のご支援をいただきながら館長の重責を精一杯尽力し全うして参りたいと存じます。

身延町立のこの博物館は、その一部が国史跡

ともなっている中世・戦国期以来の“湯之奥金山遺跡”の重要性を豊かに発信し続けている、全国的にもたいへんユニークな博物館だと理解しております。

年が明けた2017年に当館は、開館20周年を迎えることとなります。10年に一度のアニバーサリーを多くの皆様にいかに楽しんでいただくか、これを機に館の意義をどう浸透させていくか、現在さまざまに検討し、企画を練っております。

この大きな節目を迎えるのを前にして、もう一度この館が担う役割を確認しておきますと、

- ①登録博物館として
- ②史跡「甲斐金山遺跡—中山金山」のガイダンス施設として
- ③地域活性化の交流拠点として

という3点に集約できるかと思われま

す。まず①については、この館の基本的な任務となるものですが、金山の歴史に関する資料の保存・展示公開・活用を担うもので、これまでも数多くの実績がありますが、展示の充実などにより一層の発展を目指す必要があります。

②につきましては、平成9年の史跡指定よりこの方、史跡の保存・活用を進めるとともに、未解明の鉱山技術について新たな資料の掘り起こしなどにより究明をし続けてきました。その継続や今後の課題とされている内山・茅小屋の両金山遺跡について史跡の追加指定を受けられるよう調査研究を進めることがあり、現在、湯之奥の周辺にまで視野を広げ、現地踏査や記録の探求などの取組みが続いています。今後は中山金山遺跡を核に、当地に展開する金山遺跡群の学術的意義を総合的な視点から浮き彫りにし

ていくことが大きな目標となります。

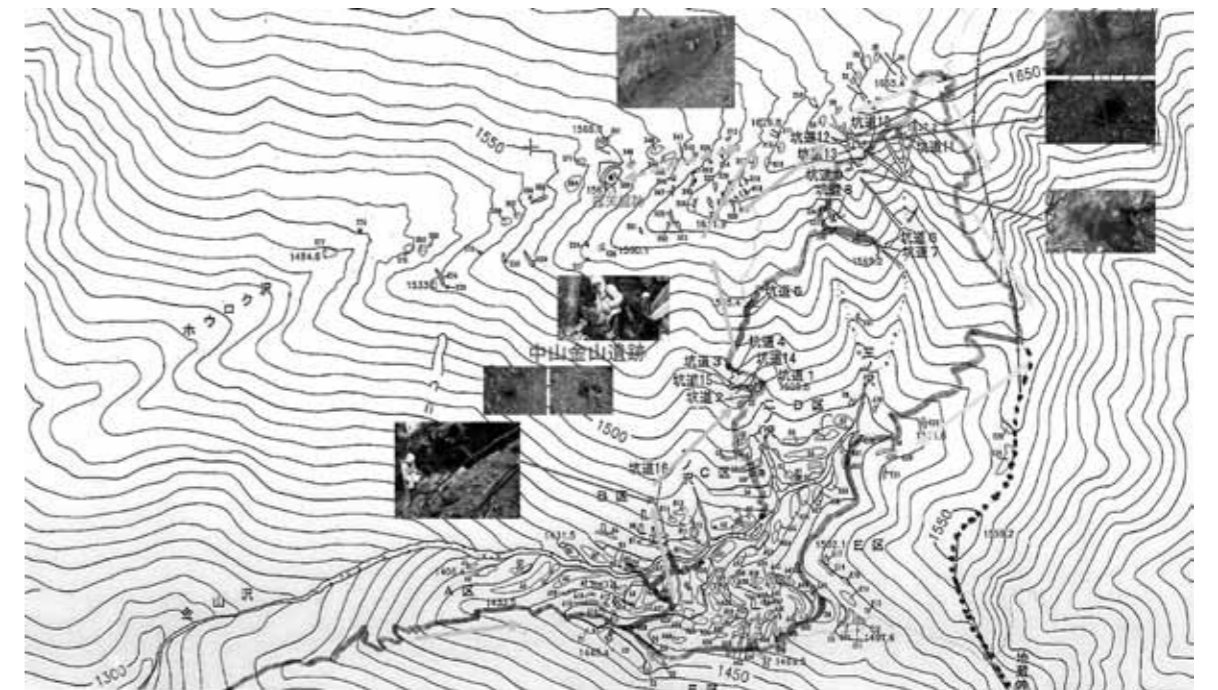
③に関しては、これまで谷口前館長が掲げてこられた「富士川流域の観光振興」「教育旅行の受け皿」などの展望を念頭に置き、数年先に実現する中部横断自動車道全線開通を見据え、当館がしっかりと役割を担えるよう、日常の地域と連携した活動の進展はもとより、館自体の体制充実も併せ考えながら進めていく必要性を強く感じております。

以上、この館の多年にわたる数々の実績のもとに、国史跡の拡充など、当面の幾つかの課題を挙げてみましたが、問題はこれらをどのように実現させていくかであると考えます。

具体的には個々の領域の目標を明確に定め、その実現に向けたプロセスを一つひとつ踏んでいくことが重要で、短期的には20周年をどのようなメニューでメモリアルイヤーにしていくか。



中山金山遺跡現地踏査近況報告



中山金山遺跡坑道調査の記録

調査日：2016年9月23日（木・祝）
調査スタッフ：（金山側）出月・深沢・小堀・熊谷（松江高専）久間教授・員内

平成元年からの総合学術調査から長い年月が経過した今、茅小屋・内山金山を含めた、中山金山周辺に展開する金山群の現地踏査、並びに当時はまだなかった手法で中山金山遺跡の再検証を行い新しいデータ採取を行っています。去る9月22日、松江高専の久間先生のご協力のもと、出月館長と博物館スタッフは、中山金山遺跡の坑道群の再確認と、そのうち2つの坑道の新しいデータ採取に成功しました。詳細は次号と、冬のフォーラムにて！

2016夏イベントの活動報告

第8回化学実験教室

7月17日(日)

夏休み第1弾イベントの化学実験教室も、宮本一弘先生のご協力をいただきながら、今年で8回目を迎えることができました。化学離れが顕著な近年、県内で化学実験教室を開催しているのは当博物館のみ。その結果、鉱山専門博物館でありながら、「化学博物館」としても認定されています。

普段身近にあるもので身のまわりの化学を実感し、夏休みの自由研究にも役立つ化学教室。1時間目の「水の不思議! 手の中に雲を作

る!？」、2時間目の「塩の不思議! コップの中で雪を降らせる!？」、お昼休憩を挟んで3時間目の「シャボン玉を浮かべる!？」&「冷却パックを作ろう!」という3実験。参加した子供たちはこれらの実験に大いに楽しんでいました。

各実験とも定員を大きく上回り、その人数延べ約70人。保護者の皆さんからは、化学実験教室は本当にないので、こども達のためにも今後も継続してほしいという嬉しい声をいただきました。



第16回砂金掘り大会 (一般大会)

7月30日(土)

今年も盛大に開催された博物館最大イベント「砂金掘り大会」。開会式は、会場に集まった参加者全員で6月に急逝された谷口前館長に、黙祷を捧げることから始まりました。

16年目を迎えた今年の大会は、岐阜県高山市の「おっばら自然体験センター」が製作した本部一括で計測管理を行うことができるボタンシステムに変わりました。

“ジュニア (J) の部” は小中学生約70名、昨年までの“初心者部門” と“ベテラン部門” を統合した“男女一般 (B) の部” では、決勝戦枠の上位20人を目指した約100名の砂金掘り師がその腕を競いました。ジュニア部門から男女一般部門まで含めて全部で9試合。

特に若い世代の活躍が目覚ましかった今大会。J部門のほとんどが中学生で

占められている中、10人の小学生がエントリーしていましたが、結果を見ればなんと、30位以内に小学生が4人という快挙。特に、小学2年生でJ部門第4位に入賞した中山頼希君には、特別賞を授与いたしました。ベテラン勢、来年こそ奮起を!! 一般大会の結果は次頁のとおりです。



2016年「砂金掘り大会」競技結果一覧 (敬称略)

【ジュニアの部】

6kg / 競技の砂金数: 7粒											
順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	大道 朱莉	7	3.00	19	宮崎 舜	5	10.03	37	築場 創	5	14.39
2	丸山 ひなた	7	3.05	20	菊池 悠希	5	10.11	38	藤沢 響	3	15.28
3	木谷 文乃	7	4.19	21	五味 泰雅	5	10.14	39	武富 美愛	3	16.17
4	中山 頼希	7	4.23	22	金重 宜憲	6	10.21	40	三浦 碧斗	3	16.21
5	鈴木 真子	7	4.27	23	保田 芳ノ助	5	10.21	41	吉田 陸人	3	16.34
6	魚住 さやか	7	4.32	24	山元 翔太	5	10.35	42	高山 宗大	4	16.35
7	陰山 智尋	7	4.53	25	明石 萌花	5	11.15	43	能勢 廣牙	3	16.52
8	卯月 秀敏	7	4.56	26	平見 琢湖	6	11.30	44	竹内 優太	4	17.23
9	松田 昂	7	5.51	27	中島 理湖	4	11.48	45	川崎 麻由	2	17.59
10	田中 耕大	6	6.02	28	雨宮 日和	5	11.50	46	表 凜明	2	18.16
11	中澤 明日香	6	6.24	29	一瀬 琴珠	4	12.14	47	雨宮 日向	3	18.43
12	窪田 愛梨	6	7.11	30	石部 璃人	5	12.27	48	高橋 奈々恵	2	18.51
13	澤藤 萌絵	6	7.23	31	深尾 優理	4	12.40	49	神田 頌文	4	19.00
14	森田 奈菜美	6	7.42	32	近藤 大航	4	12.59	50	長田 和	3	19.35
15	大山 智子	6	7.48	33	斎藤 麻子	5	13.30	51	関野 悠悟	3	21.03
16	兵藤 美桜	5	7.58	34	田村 夏咲	5	13.32	52	岩上 和司	3	21.06
17	風間 泰	5	9.00	35	倉田 明咲	4	13.55	53	建部 亮太	3	21.13
18	長田 瑛	6	9.02	36	越智 楓	3	14.09	54	木元 慎一郎	2	21.24

【男女一般の部】

12kg / 競技の砂金数: 8粒											
順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	佐藤 由衣	8	3.47	25	紙中 緑香	7	11.07	49	角丸 百合奈	4	14.55
2	近藤 直美	8	3.50	26	鹿倉 智美	6	11.28	50	島崎 優	6	15.06
3	川原 敏夫	8	4.17	27	長坂 幸治	6	11.28	51	瓜生 遥希	6	15.08
4	戸田 百花	8	4.41	28	宮本 一弘	6	11.29	52	奥山 未来	5	15.18
5	石井 耀大	8	5.07	29	宮坂 隆志	6	12.00	53	望月 樹奈	4	15.29
6	沢井 悠太	8	5.27	30	清水 姫花	6	12.03	54	諫山 浩士	5	15.30
7	戸田 和利	8	6.14	31	溝坑 瞬	7	12.04	55	田中 則雄	4	15.31
8	望月 千代	8	6.24	32	深井 藤之介	7	12.05	56	松田 智	5	15.35
9	栗原 真希	7	7.04	33	中村 彩香	7	12.08	57	金井 勇樹	5	15.43
10	斎藤 朋来	8	7.10	34	木村 伸之	5	12.19	58	矢崎 裕也	5	15.53
11	渡辺 清人	7	7.20	35	若月 章弘	6	12.20	59	宇野 慎介	4	15.54
12	高橋 昭博	8	7.30	36	長坂 智恵	6	12.27	60	中村 絵美	6	16.00
13	小坂 美貴子	7	8.25	37	保坂 信一	5	12.35	61	本間 純	4	16.05
14	牛島 宏樹	7	8.26	38	金子 和由	5	12.40	62	倉橋 肇	5	16.24
15	仁木 創太	7	8.34	39	梅森 敏章	6	12.51	63	石田 政明	4	16.33
16	小松 寛	8	8.42	40	望月 梨里子	6	13.05	64	林 謙治	5	16.39
17	牛島 敏博	6	8.50	41	長田 友恵	5	13.15	65	中川 清	4	17.11
18	井村 智子	6	9.47	42	日野 瑞南	5	13.55	66	五十嵐 智剛	4	17.21
19	広瀬 義明	6	10.01	43	及能 麻友	5	13.58	67	上田 匠人	4	17.39
20	野村 敏郎	6	10.13	44	内池 杏平	6	14.03	68	矢崎 拓郎	5	17.49
21	中村 幹一	6	10.20	45	山元 健理	5	14.06	69	恒石 美侑	5	17.52
22	諫山 凌太	7	10.20	46	薄木 謙治	6	14.15	70	尾澤 博孝	5	17.53
23	木村 哲平	6	10.30	47	高橋 史枝	5	14.20	71	川崎 七瀬	4	18.16
24	真田 兼行	6	10.38	48	村上 怜司	6	14.44	72	秋山 祐介	4	19.26

【男女決勝の部】 ※上位20名予選進出者

16kg / 競技の砂金数: 12粒							
順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	戸田 百花	12	11.51	11	仁木 創太	7	25.31
2	戸田 和利	12	12.12	12	石井 耀大	7	27.38
3	高橋 昭博	12	12.46	13	近藤 直美	7	27.43
4	井村 智子	11	12.54	14	小松 寛	7	28.35
5	野村 敏郎	11	14.59	15	渡辺 清人	5	30.10
6	広瀬 義明	10	15.18	16	小坂 美貴子	6	33.00
7	川原 敏夫	10	15.51	17	栗原 真希	5	36.00
8	沢井 悠太	9	17.41	18	牛島 敏博	3	37.36
9	佐藤 由衣	9	20.43	19	望月 千代	1	43.45
10	斎藤 朋来	8	23.18	20	牛島 宏樹	0	49.32

【頂上決戦】

7kg / 競技の砂金数: 9粒			
順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	大道 朱莉	9	4.49
2	戸田 百花	7	10.39

総合優勝
大道 朱莉
さん



第13回 砂金甲子園！東西中高交流砂金掘り大会

7月31日(日)

一般大会の興奮冷めやらぬ中、2日目に行われた「砂金甲子園」と銘打った学校大会。2連覇の昨年優勝校の桐朋が、優勝旗とトロフィーを返還し、団体戦と個人戦の得点制で競技スタートしました。

今年の団体戦は、競技時間40分。各校20バケツ・トータル50粒の砂金が入っており、ロスト砂金1粒につき3分のペナルティタイムが加算されます。全てのバケツをゆすり終わるまで全選手がパンニングするというチーム力の結集で結果を出す団体戦では、大妻、桐朋、灘が上位を占

めました。しかしながら各校入賞の可能性を残して各人のテクニックが試される個人戦へ。

各校とも先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の5人を選出し、本部で指定されたパンニング皿で戦いますが、各校の精鋭選手。パーフェクトが続出した中、熾烈な個人戦を制したのは、強豪・灘を2位、昨年優勝校の桐朋を3位に抑えた大妻Aチーム！表彰式で優勝旗とトロフィーを受け取った大妻女子の目には涙が輝きました。砂金を巡る熱い戦いの詳細結果は次表のとおりです。

【団体戦得点表】

Table with 12 columns (schools) and 12 rows (teams). Includes school names and scores for various teams like 桐朋, 大妻B, 大妻A, etc.

Table with 12 columns (schools) and 12 rows (teams). Includes school names and scores for various teams like 桐朋, 大妻B, 大妻A, etc.

【個人戦得点表】

Table with 12 columns (schools) and 12 rows (teams). Includes school names and scores for various teams like 桐朋, 大妻B, 大妻A, etc.



華やかな大会を、大変な労力を必要とする裏方作業で支えてくれるのは博物館応援団と、インターンシップの峡南高校生たち

【総合成績】

Summary table of overall results with columns for school name, team score, individual scores, and overall ranking.



静かに様子を見守る出番待ちのパンニング皿...



優勝旗を受け取る大妻Aと、2位の灘、3位の桐朋の代表選手。思いはそれぞれ。

第16回 こども金山探検隊

8月11日(木)～12日(金)

山の日が制定されたことを受け「山の日に金山遺跡へ登ろう」というコンセプトで、8月11日、12日と開催した「こども金山探検隊」は今年で16回目を迎えました。初日の見学地も例年と違う茅小屋金山遺跡。中山金山よりも行程は短く、片道40分程の道のりでしたが、川を渡ったり、岩を登ったりするまさに“探検隊”に、大人子ども関係なく全員が、普段は味わえないドキドキ感を楽しみながら、ようやく金山遺跡に到着しました。現地学習で金山の歴史を知り、鉱石の特徴を学習しました。下山し博物館に戻った後、粉成・汰り分け体験。白を使つての粉成作業に、理屈は一緒でも体験室とはまったく異なる作業の汰り分け。そして2日目の灰吹き作業

でオリジナル甲州金を作り上げました。

修了式で深沢リーダーから、こども金山衆認定証と参加賞を受け取り、最後はもーん父さんも一緒に記念撮影。この二日間の経験をした隊員や保護者の皆さんの顔はとても満足気でした。

参加した子供たちにとって、歴史を科学するきっかけづくり、そして歴史に興味を持ってほしいという願いを込めて、今年も子供金山探検隊が終わりました。そして、すべての夏事業において、応援団の皆さんのご協力と、ご参加された皆様からのご協力をいただき成功を収めることができましたことに、スタッフ一同、深く感謝申し上げます。

